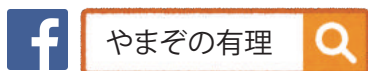


子育てから介護まで「ずっと伊丹で大丈夫！」と、はなせる街づくりを目指して。

# 伊丹市議会議員/無所属/33歳 やまぞの有理

このチラシは、伊丹市議会議員やまぞの有理が、市政情報や活動報告などをお届けしているニュースです。街頭活動・ポスティングの配布でお届けしております！



HP: <http://www.yamazonoyuri.jp/>

## 【プロフィール】

1985年8月伊丹生まれ・伊丹育ち／長尾保育所・天神川小・荒牧中学校を経て明治大学公共政策大学院修了（北大路ゼミ）／マニフェスト大賞受賞（第11回・第12回と連続受賞）／2011年伊丹市議会議員選挙において初当選（当時25歳最年少当選）現在2期目／パトランチーム伊丹広報担当／未生流（師範）・表千家／日々の活動は公式Facebookページにてお届け！



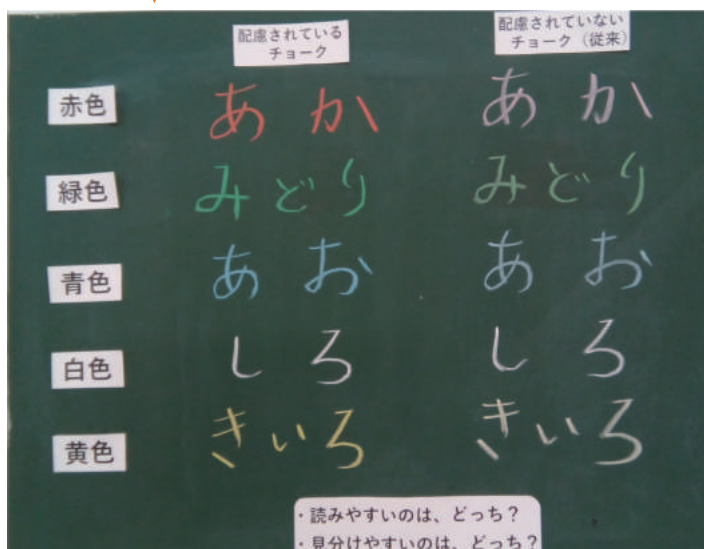
## #拡がれ、色覚チョーク

やまぞの有理の議会での提案により伊丹市では、  
小中学校での色覚チョークの導入が広がっています！

色弱は色を感知する細胞に原因があり、赤・緑・茶といった色が同じような色に見えたり、淡いピンクがグレーや白に見えたりします。色弱者の割合は、男性が約5%、女性が約0.2%とされ、色弱の子どもは学校で黒板のチョークが見えづらく悩んでいるケースも多いです。

これを解消するために開発をされたのが色弱者にも色の識別がしやすくなったチョーク（色覚チョーク）です。特殊な素材を使うことで一般のチョークより色がクリアに見えるのが特徴です。気になる価格ですが、企業努力によって従来のチョークと同じです。

製造元の段階では色覚チョークと従来チョークは同じ価格



▲色覚チョーク（左）はご希望あれば現物をお見せに伺います

文部科学省は「赤、緑、青、茶色など色のチョークを使用すると見えにくい場合、避けるようにする」とし、白と黄色の2色のみを使用するように求めています。

色覚チョークを導入・使用すれば、色弱者の児童を含めたすべての児童が従来のチョークよりも黒板の文字が見やすくなるだけでなく、教員が2色のチョーク以外の色も気兼ねなく使用することが可能になり、その結果、学習環境の向上が見込まれます。

やまぞの有理は、全ての子どもにとってわかりやすい教育を行う「教育のユニバーサルデザイン化」はとても重要であると考え、色覚チョークの導入を議会で提案して参りました。

伊丹市では2017年9月議会において、色覚チョークの導入にむけて提案をしたところ、「色覚チョークが未導入であり、導入を検討したいという」答弁でした。その後2018年3月議会でも再度色覚チョーク導入にむけて提案をしたところ、「伊丹市内の小中学校では17校中7校/中学校では8校中2校が色覚チョークを導入したこと、今後とも色覚チョークの導入・使用の拡大を図っていくこと」が明らかとなりました。

## ■学生インターン受け入れ開始!

8月1日から2カ月間、大学生インターンを受け入れます!

若者の政治離れや政治への無関心、選挙の投票率の低下、若者は政治をどのように考えているのかしっかりと向き合い、そして、政治の重要性を一人でも多くの学生に伝えたい。その想いで学生インターン生の受け入れをスタートさせました。今期で3期生となります。

2か月間インターン生と共に学んでいきたいと思っています。宜しくお願い致します!



## ■岡山県倉敷市災害ボランティアへ



西日本を中心とする豪雨で大きな被害を受けた岡山県倉敷市の真備町へボランティア活動に行きまして。作業はケースバイケースですが、私が参加したチームでは土嚢作りやゴミの搬出、清掃など4時間程行いました。

休憩中には、家主さんと懇談し、被災時の状況などを詳細にお教えいただきました。報道を通して被害について把握をしていましたが、現地の被災状況は想像以上でしたし、この暑さの中での作業も想像以上でまだまだボランティアの力は必要です。今回の災害で、倉敷市真備町だけで4600戸が浸水しており、まだ全く手のついていない家もたくさんあると伺いました。

倉敷市ボランティアセンターのURLをQRコードにしました。

ボランティアに興味がある方はどうぞご参考に頂ければ幸いです。

やまぞの有理も今後もできる限り支援を行って参ります!



倉敷市ボランティアセンター

## ■恒例の市政報告会開催致します!

日時：9月24日(月) 19:00~20:30

会場：きららホール 3階 301・302 会議室

会費：無料

【内容】

前半：6月定例会での一般質問や9月定例会についてのご報告

後半：大学生インターンから投票率向上に向けた取り組み

事前予約は必要ありませんので気軽にご参加下さいませ♪